

# 小沼組絵図かわら版



【修復前の耶麻郡小沼組絵図】

おかえりなさい、

小沼組絵図！

みなさん、こんにちは。上の写真が、五月末に修復に出した村指定文化財の「耶麻郡小沼組絵図」です。今までは松原歴史館に展示してありました。

「耶麻郡小沼組絵図」は、江戸時代の大塩・北山・熊倉(現・喜多方市)の様子が描かれた絵図です。縦約2メートル50センチ、横約1メートル30センチほどのかなり大きな紙に、各集落や地形の様子が詳しく書かれています。

今回は、先月下旬に修復を終え戻ってきた時の様子や、修復をお願いした茨城県水戸市にある表具店「泰清堂(たいせいどう)」さんにインタビューした様子をお届けいたします。

## ✨装いも新たに✨

今回の修復では絵図の本体だけでなく、装いも新たなものになりました。絵図のまわりは今まで赤系の装いでしたが、全体的に劣化が進んでいたことと、「この絵図を鑑賞するときの色合いを考慮した結果、青系色(納戸色)などいろいろの装いに変更いたしました。淡い色味の和紙に描かれた絵図が引き立ちます。

また、仕上りのバランスについても、絵図本体を裁断しない方法で適した長さに調整しました。



【修復された絵図について、泰清堂さん(右)の説明を受ける石本教育長(中)】

## 泰清堂さんに聞いてみよう

……以下、泰清堂さんとの会話です(敬称略)……

公民館：今回の修復は半年以上に及びましたが、全体的にはどのような作業になりましたか？

泰清堂：絵図全体に蓄積された汚れ・ホコリを落とすこと、そして折れやシワ、つなぎ目を可能な限り修復することでした。

公民館：大変なことはありませんか？

泰清堂：シワやつなぎ目の修復を行いながら絵図全体のバランスを保つ、この二つの作業を両立させながら修復するのが大変でした。無事に仕上がって良かったと思います。

公民館：今回の修復で絵図全体がともきれいになって見やすくなりました。

また、細部をよく見ると後世の補筆の痕跡も見られますね。こういった部分を無理矢理修正せず、あえて残して全体のバランスを保つ。長い期間、こういった作業の連続だったのですね……

泰清堂：両立させることで、絵図がこの体裁になる過程を残すと言いつたこともできますね。この絵図は家の屋根や風景の描きかたが丁寧で、江戸時代の村の様子をつかえる貴重な絵図だと思います。これからも大事に扱っていただきたいですね。

公民館：分かりました。今回の修復にあわせて、保管用の桐箱などもあつらえていただきました。より一層大切にしていきたいと思います。本当にありがとうございました！

## 絵図の今後は？

今後は絵図を次の世代へ良い状態で引き継いでいくため、保管の方法や展示について文化財保護審議会などの場で検討していくこととなります。